

KISS原則とDRY原則

• KISS原則

- Keep it simple, stupid!
- 小さく作り、組み合わせる。
 - 一つの関数は一つの作業をこなす。
- 各部品(関数)をテストする。
 - 検証・再現性を意識する。

目安:

- 1関数=数十行程度
- 50行ぐらいになったら分割できないか考えてみよう。
- 長過ぎるブロックや関数は読みづらく、バグに気づきにくく、再利用しにくい。

• DRY原則

- Don't repeat yourself.
- 繰り返しを避ける。

目安:

- 同じ行or類似行が数回出てきたら、関数化することを検討しよう。
- 同一機能を何度もコードやブロックとして繰り返して書くと、同一バグがあると全ての関連箇所を修正する必要があるし、機能改善をする際にも同様の手間がかかる。